

令和6年第2回海陽町議会定例会会議録（第1号）

開 会 年 月 日	令和6年6月10日
開 会 場 所	海陽町議会 本会議場

開 会	東 議 長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>本日、第2回海陽町議会定例会を開くにあたり、議員各位におかれましてはご多忙の中、ご参集を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>これより、令和6年第2回海陽町議会定例会を開会します。（午前9時29分）</p> <p>まず初めに、本日、木内議員より欠席届が提出されておりますので、ご了解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また本日、池田地域つながり課長が欠席のため、浅間課長補佐が代理出席しておりますので、ご了解のほどよろしくお願いいたします。</p>
	東 議 長	<p>ただいまの出席議員は13名です。定足数に達していますので、直ちに本日の会議を開きます。</p> <p>本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。</p>
日程第1 会議録署名議員 の指名	東 議 長	<p>日程第1、会議録署名議員の指名を行います。</p> <p>本日の会議録署名議員は会議規則第126条の規定により、議長において、4番 佐川議員、5番 富田議員を指名します。</p>
日程第2 会 期 の 決 定	東 議 長	<p>日程第2、会期の決定についてを議題にいたします。</p> <p>お諮りします。本定例会の会期は本日から6月19日までの10日間としたいと思いますが、ご異議ありませんか。</p> <p>（「異議なし」との声あり）</p>
日程第3 諸 般 の 報 告	東 議 長	<p>異議なしと認めます。よって会期は、本日から6月19日までの10日間と決定しました。</p>
	東 議 長	<p>日程第3、諸般の報告を行います。</p> <p>派遣関係につきまして、まず議長会等については、5月21日、全国町村議会議長会議長・副議長研修会に議長、副議長が出席しております。そのほか、3月22日、海部郡安芸郡町村議会議長・副議長研修会、4月25日、海部郡町村議会議長会第1回定例総会、5月8日、徳島南部自動車道及び阿南安芸自動車道の早期整備に向けた中央要望に議長ほか副議長が出席しております。</p> <p>次に、監査委員より3月から5月に実施した例月出納検査及び2月に実施した定期監査について議長宛に報告がありましたので、ご報告しておきます。</p> <p>次に、町長からお手元にご配布のとおり、20件の議案、報告の提出がありましたので、ご報告いたしておきます。</p> <p>なお、本定例会で受理した陳情書等はお手元にご配布のとおりです。議会運営委員会で審議の結果、所管の常任委員会に付託をいたしております。</p> <p>諸般の報告を終わります。</p>
日程第4 行 政 報 告	東 議 長	<p>日程第4、行政報告を行います。</p> <p>三浦町長。</p>
	三浦町長	<p>本日、6月議会定例会を招集をいたしましたところ、議員の皆さま方にはご多用の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>3月の定例会以降の状況と今後の展望についてご報告をさせていただきます。</p> <p>まず、元旦に起こりました能登半島地震ですが、もうすぐ半年が過ぎようとしています。犠牲になられた方、被害に遭われた方、そして未だに不自由な生活を強いられている方々に心よりお見舞い申し上げます。</p> <p>海陽町も南海トラフ巨大地震の被害が想定されるため、準備してあった備蓄品の一部などを輪島市に支援をさせていただき、人的にも、初期、中期、後期に職員派遣を行ったところですが、その中で、派遣職員一人一人が実際に目で見て体感してきた貴重な経験をこの町の防災に活かそうと、早急に対応できるものは今議会に予算措置をさせていただいております。現在、能登では最大で約11万件に上った断水も5月末でほぼ復旧し、これから今後のまちづくりや復興へと舵を切っていくと思いますが、その復興プロセスも注視をしながら、海陽町での事前復興についても今後、具体的に提案させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。</p>

		<p>先日、5月25日の日経新聞全国版の一面に、海陽町の事前復興計画の取り組みが掲載され、私も全国各地からお褒めの言葉をいただきました。その記事の中では、国の事前復興ガイドラインの進捗状況が全国平均26・1点なのに対し、海陽町は100点満点で、全国の先進地であると写真入りで載せていただいております。日経新聞の全国一面に載ったということで、全国トップとして恥ずかしくない取り組みを常におこななければならないというプレッシャーを全職員で感じながら、防災に100%はないという気持ちで、これからさらなる情報収集もしながら、防災また事前復興の観点からもしっかりと取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>次に海陽町の人流と国の補助金についてであります。コロナも昨年5月に5類になり、世間では日本人観光客に加え、海外からのインバウンドが多数押し寄せるオーバーツーリズムが言われておりますが、海陽町ではその恩恵を十分に受けていないのも事実であります。その一部でも海陽町に足を向けていただけるように、今後は海外への積極的なPRなども重要となってくると思います。海陽町は待っていても来ていただける場所ではないというのは、現状を見れば一目瞭然でありますので、インバウンド獲得に向けて戦略的に情報発信をしていきたいと思っております。その中で、国の補正予算などはスケジュール的に、予算措置が補助金の交付決定まで待つと年度内の事業実施ができなくなるということがありますので、そうならないように、町が取り組みたい事業とマッチするものについては、その都度、積極的に申請と予算措置を繰り返しながら、有利な補助金が取れた段階で事業をしていくという方法をとっていきたいと思っております。</p> <p>他にも、国政選挙前ということで、そのタイミングでまた急な予算が出てくることも予測をされます。いつ補正予算が出てやりたい事業ができるように、事前に優先順位を付けてしっかりと準備をしてまいりたいと思っておりますので、急な提案もあるかもしれませんが、ご理解をよろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは、各項目に分けてご報告をいたします。</p> <p>まずは、「住み良い町の実現」についてでございます。</p> <p>最初に目に見える治水対策についてです。</p> <p>徳島県が進めております海南地区の善蔵川河川改修は、現在、尾鼻橋架替工事を行っております。4月より橋台の工事に着手をいたしております。また、善蔵川河口の排水ポンプの能力向上につきまして、昨年度より検討業務に着手をし、今年度は、排水ポンプ施設の設計を行っているところです。宍喰地区の松本排水機場のポンプ増設工事の方は、令和4年度から工事着手をされ、今年度はポンプ据付工事を実施をしております。今年度末に据付を完了し、令和7年度の稼働を目指して進めてまいります。</p> <p>次に津波対策についてでございます。</p> <p>現在、宍喰地区には平成27年度に津波避難タワーが整備をされておりますが、一部の地区ではまだ避難困難地域が解消されていないことから、宍喰浦地区への新たなタワー建設に向けて、今年度、基本計画を策定をいたします。まずは、整備箇所の選定と概算事業費の算出を行ない、その後、令和7年度に詳細設計と用地買収、令和8年度に工事着手をする予定です。また、現在行われている浅川地区の伊勢田川河口の水門工事ではありますが、今年度7月に右岸側の水門下部工事を契約する予定で進んでおります。</p> <p>次に感震ブレーカー補助についてでございます。</p> <p>地震で停電になり、復旧するときに漏電して火災が発生するケースが多発をしております。そこで、地震で自動的にブレーカーが落ちて、復旧時に確認をしながら電気を通すことによって火災を防げるように、全世帯を対象にした感震ブレーカー設置補助事業と高齢者を対象にした減災化対策事業をそれぞれ新しく創設をしたいと思っております。今議会で提案をいたしますので、よろしくお願いをいたします。</p> <p>次に宍喰地区防災公園整備事業についてでございます。</p> <p>防災公園は昨年度から本体造成工事に着手をしておりますが、今年度も引き続き造成工事を発注し、7月に契約する予定となっております。国の予算の関係上、なかなか前に進まない感はありますけれども、できるだけ早期に完成できるように、引き続き予算確保に取り組んでまいります。</p> <p>次に四国8の字ネットワーク整備促進事業についてでございます。</p> <p>令和6年4月1日の国の予算で、高知県側は全て事業化され、また、唯一空白区間であった美波・牟岐間が計画段階評価に向けた調査へと格上げされました。これまで事業化されていない区間は多良から美波間のみとなりましたので、今後も引き続き、国への要望活動に力を入れて、早期事業化に向けて取り組んでまいりたいと思っております。</p> <p>次に地籍調査についてです。</p> <p>今年度は奥浦地区で、8月下旬から地元説明会を行い、9月からの現地立会に向けて事前準備を実施していく予定です。また、令和5年度までの未完了部分につきましても確認作業を継続的に実施して、早期に登記完了できるよう取り組んでまいります。</p> <p>次に海南病院の取り組みについてでございます。</p> <p>この4月から新しく海南病院を支援していただける先生が増え、笠岡第一病院からは総合診療医の國永先生と吉永先生、徳大からは整形外科医の三尾先生、田岡病院からは診療ナースの谷口NPが加わり、海南病院もさらに活気が出てきております。その國永先生と徳大医学生からの発案で、今年2月から毎月行っている学生くらしの保健室ですが、4月開催では7人、5月には9人、6月には7人と、3カ月で延べ</p>
--	--	---

	<p>23人もの学生が参加をしてくれております。海陽町民は非常に助かっておりますが、実は医大生の中でも好評で、毎月の海陽町にきたい参加者が抽選になっていると聞き、今月から抽選に落ちた人も行けるように、他町でも学生くらしの保健室を随時、開設して行くとのことです。海陽町の取り組みが徳島県下に広がっていき、県内に残るお医者さんが増え、この徳島県が住みやすい地域になればと思います。また、5月の20日からの5日間、徳大医学科の6年生2人が海南病院に実習生として来ておりました。実習生の受け入れなど、今までの海南病院ではなかったことで、学生も非常に満足の実習だったと感想もいただいております。今後、日本の国全体の人口減少が進み、地方の病院経営が厳しくなったとしても、ここに人が住むコミュニティが存在する限り医療は必要で、10年後もこの地域に残り支えていかなければならないのが海南病院であると認識をしております。まずは近い将来を見据えながら、中・長期的な構想も持ちつつ、引き続き海南病院改革に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>次に職員採用試験についてです。</p> <p>世間では公務員離れが進み、海陽町職員採用の応募も近年大幅に減少をしております。それを受けて、昨年は応募要項の改良やSNSでの呼び掛け、私や先輩職員が出演するWeb説明会の開催や学校訪問などにも取り組みました。今年度も末端自治体は動かなければ消滅してしまうという危機感を持って、同様の呼び掛けをする中で、一人でも多くの受験者を確保していければと思います。</p> <p>次にがん患者さんへの医療用の補整具補助についてでございます。</p> <p>国民の検診率が大幅に増え、世間ではがん患者の生存率が大幅に増えておりますが、比例して闘病患者の割合も増えてきております。そこで、町では闘病生活を少しでもサポートできるように、医療用ウィッグや乳房補正具の補助を行います。それぞれ購入金額の2分の1、上限3万円の助成を7月から実施していき、治療期間で少しでも免疫力を高め、元気に復帰していただけるように、患者さんの後押しになればと思います。</p> <p>次に带状疱疹ワクチンの接種費助成についてです。</p> <p>議員の皆さま方からもご意見をいただき、検討を進めてまいりました带状疱疹ワクチンではありますが、7月から海陽町単独でスタートしていきたいと思っております。生ワクチンは上限4千円の助成で1回まで、不活化ワクチンは上限1万円の助成で2回までとし、高額で遠慮していた方々へ接種の後押しになればと考えております。時間は決して後戻りできませんので、未来の自分が少しでも幸せに過ごすために、ご利用いただければ幸いです。</p> <p>次に特定保健指導の受診率についてです。</p> <p>2022年度の特定健康診査および特定保健指導の保険者別の実施率が厚生労働省より公表されまして、海陽町国民健康保険加入者の特定保健指導実施率が98.9%と全国の町村の中で上位10自治体に入り、5年連続で厚生労働大臣からのメッセージをいただきました。ちなみに徳島県下での特定健診の受診率も海陽町が5年連続で1位となっております。</p> <p>次に、「にぎわうまちの実現」についてでございます。</p> <p>まずは、ふるさと納税についてです。</p> <p>令和5年度のふるさと納税であります。寄附件数6966件、寄附額1億7860万5千円、企業版ふるさと納税件数9件、390万円、合計で1億8250万5千円もの寄附額を頂きました。本町の財政力指数が0.19と非常に厳しい状況の中で、大変貴重な寄附を頂き、皆さまのご厚意をしっかりと町の発展に活用させていただきたいと思っております。今年度は2億円を目標に取り組んでいき、事業精査と歳入確保の両面から行財政改革に取り組む中で、返礼品として町の産品が選ばれることで企業が儲かり、税収も上がり、さらには事業者がネット販売することで町のPRにもつなげていけるように、持続可能な海陽町の礎を築いてまいりたいと思っております。ちなみに令和6年度は5月末時点で寄附件数634件、1261万2千円の寄附額を現在、頂いております。</p> <p>次に観光施設のあり方検討委員会についてです。</p> <p>海陽町の魅力ある観光振興に向け、観光施設の適正な規模や運営方法について有識者を交えて議論をする、観光施設のあり方検討委員会を今年の2月6日に発足し、全5回の会議で検討をいただき、5月30日に答申をいただきました。内容は、現在の遊遊NASA、リビエラ、道の駅の3施設を存続し、民間の指定管理で運用することが望ましい。そして将来的には譲渡等の可能性も模索するべきであるということでありました。まずは答申を基に、町としての方向性を早急に検討し、今年度中に最善の方向に進めていけるようにスピード感をもって取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>次に、物価高騰対策についてでございます。</p> <p>海陽町では国のコロナ対策交付金などを活用して、住民の動向を見る中でタイミングを計りながら、これまでの商品券事業を行ってまいりました。そして、昨年の国の補正予算であります物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金については、しかるべきタイミングで使おうと繰り越しをさせていただいていたところですが、しかしながら、現在の国の情勢を見る中で、まだまだ物価高騰の波が落ち着くことがないと予測をされますので、年末に向けて商品券事業に使わせていただきたいと思います。1人当たり5千円の商品券を配布したいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>次に企業版ふるさと納税とマンホールカードについてです。</p>
--	---

		<p>企業より、DMVを型取ったマンホール蓋の制作費を企業版ふるさと納税で寄附を頂き、宍喰道の駅の駐車場に設置をさせていただきました。そこで、せっかく寄附を頂いた蓋のPRも兼ねて、全国696自治体が登録をしているマンホールカードの申請をしていきたいと思ひます。審査を受けて通り次第、宍喰道の駅で配布をする予定です。</p> <p>次に、農業用機械導入補助金についてでございます。</p> <p>耕作放棄地対策としまして、本年度新たに創設をした農業用機械導入補助金ですが、4月から公募をしたところ集積加速化支援分で8名、共同利用促進分で5組織の応募がありました。面積を拡大継続していくためには機械が不可欠で、事業者にとってはすぐに必要でありますので、この6月補正で追加補正をお願いしようと思っております。議員の皆さま方のご理解をよろしくお願ひをいたします。</p> <p>次に空き家についてでございます。</p> <p>海陽町では、空き家バンク登録件数が平成28年度から現在まで5年間で約130件、そしてそのうち制約されたのが104件と活用実績が上がっております。また、町単の空き家改修補助金も利用件数が66件と、売却から活用についても利用していただいております。さらには除却に関しまして、約10年間で老朽住宅除却補助を利用した件数が119件となっているところで、今年度は能登半島地震を受けまして、例年よりも多くの申請が来ております。しかしながら、町内にはまだまだ空き家が多く、環境面、防犯面、そして防災面からも対応が必要となってきますので、現在、地元のことをよく知る消防団員の方々に各地区での空き家調査を依頼をしております。今後、9月頃まで調査をし、空き家の火災や災害時での対応なども団員間で話し合っていたたく予定でありますので、住民の皆さま方のご協力をよろしくお願ひをいたします。</p> <p>次に移住関係についてでございます。</p> <p>昨年度、1年間で移住相談会に12回参加する中で、43組55名の方の面談を実施し、3組4名の方が海陽町に見学に来て、そのうち1組2名の方が本町へ移住を希望され、秋頃に神野の移住体験住宅への入居を希望しております。今後も積極的に移住推進イベントに参加をして本町を選んでいただけるように、各種移住施策についてもブラッシュアップをして情報発信をしてまいりたいと思ひます。</p> <p>次に、「はぐくむまちの実現」についてでございます。</p> <p>まずは、グローバル教育事業についてです。</p> <p>学校の協力もありまして、令和5年度の英語検定受検率は100%、そして英検3級の取得率は50%でありました。今年度は全ての学年で英検受験料の全額補助をして、さらに受検しやすいように調整をしていきたいと考えております。また、今年度より小学校3・4年生の副読本に海外で実際に使われている英語テキストを導入して、効果的に聞く、話すなどのコミュニケーション活動を中心に学習をしていきます。来年の4月からは幼保の再編を行ない、幼稚園からの英語教育を実施していく予定で、幼少期からの切れ目のないグローバル教育が確立することとなります。今後も海陽町の中学校を卒業したら英語がしゃべれることを目標に、内容を充実しながら引き続き、取り組んでまいりたいと思ひます。</p> <p>次に海部高校の魅力化事業についてでございます。</p> <p>地元で高校がなくなれば中学校を卒業したらみんな町外に出て行ってしまふ。そうならないように、平成29年度から町から海部高校に補助を増額して、行きたい学校として残していけるように積極的に取り組んでおります。今年度は、新規事業として地域医療を学ぶ徳島大学医学部学生との交流を予定をしており、学習方法の助言や地域課題に関する意見交換など、大学生の考えを吸収できる場をもてる機会を作りたいと思っております。</p> <p>また、これまでの海外短期留学制度に合わせて国内都市圏への短期留学プログラムも計画をしており、都市部の学生との交流をする中で、田舎にいても常にさまざまな感性が養っていけるように、そして将来の選択肢を自分なりに考えていける幅が広がるように、さまざまな取り組みを進めていく予定です。</p> <p>入学者も例年約100人をキープしておりますし、来年度は旧海部病院が第3寮として活用できるようになる予定ですので、今後、さらに県外からレベルの高い学生を獲得して、町内の子どもたちや保護者が行きたい学校として選んでいただけるように、取り組んでまいりたいと思ひます。</p> <p>次にICT教育についてでございます。</p> <p>現在、海陽町の小・中学校は徳島県下でICT教育が一番進んでおりまして、これからの台風シーズンに向けて、警報が出て家でも授業が受けられるようにと指示をしているところです。今年度、各学校にワイドプロジェクターを整備し、デジタル教科書と生徒用のタブレットの画面を同時投影したり、教員用のパソコンとカメラなど2端末の映像を同時に投影させられるようにして、学校がより先駆的でわくわくする勉強の場になるよう取り組んでまいります。また、海陽町のファーストペンギンであります海部小学校では、VRゴーグルを使った他校との合同授業なども行っておりまして、都市部から一番離れている海陽町がDXを駆使して物理的距離を縮め、常に徳島県のICT教育でトップランナーとなれるように、海陽町がICT教育の先進地として徳島県をリードしてまいりたいと思ひます。</p> <p>最後に学校用の防災関連予算についてでございます。</p> <p>元旦に起こりました能登半島地震を受けて、小・中学校生に折りたたみヘルメットを整備をいたします。また、幼・小・中への防災用品の備蓄をより充実させて有事に備えるとともに、給食調理委託業者と災害</p>
--	--	--

<p>提案理由の説明</p>	<p>東 議 長</p> <p>三浦町長</p>	<p>連携協定を締結をして、災害時における町民生活の安定を確保するため、学校給食センターを拠点として協力体制を構築してまいりたいと思います。</p> <p>さらに、防災教育としましては、全学年に配布している「シロのないた海」の紙芝居を作成をして、いろいろな場面で活用する中で、忘れた頃にやってくる災害を忘れないように、切れ目のない防災教育が行えるように取り組んでまいります。</p> <p>他にもさまざまな事項はございますが、議案審議の方でご説明をいたしたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。</p> <p>先日、若手町村会のWeb研修会がありまして、元財務官僚が町長をしております山形県西川町の町長の話聞く機会がありました。人口は約4500人余りで、令和5年度の当初予算が約66億円の町ですが、事業数の約4割が国のデジ田交付金で、予算の中の国庫支出金が約10億円を占めているということでありました。税金は7億円ほどで海陽町とほぼ変わりませんが、国庫支出金は2億円ほど西川町の方が多く、やりたいことは山ほどあるがお金がないからできないではなく、国や県の予算にアンテナをもっと張って交付金を積極的に獲得していくことで、海陽町の事業の幅をさらに広げていけるんだと改めて感じたところがございます。今後はこのままどんどん前に進んでいくところと、後戻りするところとで差が大きく出てくる時代となってきます。これからも国、県の補助をしっかりと活用して、少ない町の予算で最大の効果が生めるように、準備ができたから動くのではなく、動くから準備ができると考えて、タイミングを逃さないようにアンテナを張りつつ、さまざまな事業を企画提案をしていきたいと思います。そして事業が増えることで職員も大変であると思いますが、やる気が出たから動くのではなく、動くからやる気が出るとの前向きな気持ちで、未来の海陽町のために、今自分たちが動かなければならないという気概で、積極的にチャンスを掴めるように一丸となって取り組んでいきたいと思います。</p> <p>今後とも皆さま方のご支援、ご協力、また後押しをよろしくお願いをいたしまして、6月定例会の行政報告とさせていただきます。</p> <p>皆さん、どうぞよろしくお願いをいたします。</p> <p>これで、行政報告は終わりました。</p> <p>日程第5、議案第46号、海陽町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例から、日程第24、報告第3号、建設改良費繰越に係る繰越計算書の報告についてまでを一括議題といたします。</p> <p>提案者より提案理由の説明を求めます。三浦町長。</p> <p>それでは、今議会に提出をいたしました諸議案の概要等について説明をいたします。</p> <p>議案第46号、海陽町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例は、令和6年能登半島地震を受け、国からの通知に基づき、海陽町外において災害対策本部が設置された自治体に派遣され、災害応急作業等を行う本町職員に対して特殊勤務手当を支給するため、提案させていただきます。</p> <p>議案第47号、海陽町税条例の一部を改正する条例から議案第49号、海陽町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例までの3議案は、法律又は省令の改正に伴い、条例の所要の規定を改正する必要が生じたため、提案させていただきます。</p> <p>議案第50号、教育長の任命については、三浦良教育長が令和6年6月20日に任期満了を迎えるため、三浦教育長を再任の任命をいたしたく、提案させていただきます。新たな任期は、令和6年6月21日から令和9年6月20日までの3年間です。</p> <p>議案第51号、農業委員会委員の任命については、農業委員会委員14名が令和6年7月19日に任期満了を迎えることに伴い、農業委員会等に関する法律第9条に基づき、後任の委員として、農業者等からの推薦及び募集の結果に基づき、議案書記載の14名を同法第8条第1項の規定により任命をいたしたく、提案させていただきます。</p> <p>議案第52号、令和6年度スクールバス購入契約についてから議案第55号、令和6年度消防ポンプ自動車（CD-I型水槽付）購入契約についてまでの4議案は、購入契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決をいただきたく、提案させていただきます。</p> <p>議案第56号、令和5年度奥谷トンネル修繕工事に係る相互関連工事変更受託契約については、受託期間を延長するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決をいただきたく、提案させていただきます。</p> <p>議案第57号、徳島県市町村総合事務組合規約の変更については、徳島県市町村総合事務組合の共同処理する事務に、森林環境税の徴収等を加えるため、徳島県市町村総合事務組合規約を改正することにつき、地方自治法第290条の規定により議会の議決をいただきたく、提案させていただきます。</p> <p>議案第58号、和解及び損害賠償の額を定めることについては、町有車両が相手方設備へ損傷を与えたことに伴い、和解及び損害賠償の額を定めるため、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により議会の議決をいただきたく、提案させていただきます。</p> <p>議案第59号、令和6年度海陽町一般会計補正予算（第2号）は、防災対策事業や带状疱疹ワクチン接</p>
----------------	--------------------------	--

散 会	東 議 長	<p>種助成事業などの予算を補正する必要が生じたため、提案させていただきます。</p> <p>議案第60号、令和6年度海陽町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、事業勘定においてシステム改修費などの予算を補正する必要が生じたため、提案させていただきます。</p> <p>議案第61号、令和6年度海陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、職員人件費の予算を補正する必要が生じたため、提案させていただきます。</p> <p>議案第62号、令和6年度海陽町水道事業会計補正予算（第1号）は、資本的収入の予算を組み替える必要が生じたため、提案させていただきます。</p> <p>議案第63号、令和6年度海陽町海南病院事業会計補正予算（第1号）は、陰圧装置購入費の予算を補正する必要が生じたため、提案させていただきます。</p> <p>報告第2号、繰越明許費に係る繰越計算書の報告については、令和6年度へ繰り越しをした一般会計、宍喰公共下水道事業会計及び川西農業集落排水事業特別会計の令和5年度繰越明許費繰越計算書を調製したので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、議会へ報告をさせていただきます。</p> <p>報告第3号、建設改良費繰越に係る繰越計算書の報告については、令和6年度へ繰り越しをした水道事業会計の令和5年度建設改良費の繰越額を、地方公営企業法第26条第3項の規定により、議会へ報告をさせていただきます。</p> <p>以上、議案18件、報告2件を提案をさせていただきますので、ご審議、ご同意くださいますよう、よろしくお願いをいたします。</p> <p>これで提案理由の説明を終わります。</p> <p>以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。</p> <p>この後、本議会散会后、総務産業建設常任委員会を開催、巡視予定です。</p> <p>午後4時から議会運営委員会を開催いたします。</p> <p>11日、火曜日、午前9時30分から文教厚生常任委員会を開催いたします。</p> <p>12日、水曜日は委員会予備日とし、13日、木曜日、午前9時30分より本会議を再開いたします。</p> <p>本日はこれで散会いたします。（午前10時10分）</p> <p>ご苦労さまでした。</p> <p>上会議録を作成し、その内容に相違なき事を証明するためここに署名する。</p> <p>海陽町議会議長</p> <p>海陽町議会議員</p> <p>海陽町議会議員</p>
-----	-------	--